

危機方言の現状と取組の状況 —なぜ継承していくことが大切なのか—

令和3年度 危機的な状況にある言語・方言サミット
気仙沼大会 2022年1月29日・30日

国立国語研究所 木部 暢子

1. 危機言語・方言の取組の現状

1.1 方言を記録する:3点セットの作成

1.2 方言を伝える:方言継承の取組

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 危機言語・方言の取組の現状

1.1 方言を記録する: 3点セットの作成

3点セット

辞書

文法書

談話資料



丁寧体	普通体
丁寧形 (＝ます形)	普通形
書きます (マス形: 肯定・現在)	書く (辞書形)
書ません (マス形: 否定・現在)	書かない (ナイ形)
書きました (マス形: 肯定・過去)	書いた (タ形)
書ませんでした (マス形: 否定・過去)	書かなかった (ナイ形: 過去)
(文末表現)	
書かなければなりません	書かなければならない
書いています	書いている (書いてる)
(助詞等の省略)	
日記を書きます	日記書く
今、暇です。	今、暇。
(名詞)	
私	僕
(応答詞)	
はい／いいえ	うん／ううん
(疑問文)	
名前は何か。	名前、何？
：	：

辞書

文法書

談話資料



- 難しい方言を調べる必要はありません。
思いついた単語を方言に直すだけでよいのです。

<cf.> 国立国語研究所の辞書の調査表

0001	人体	頭	あたま
0002	人体	髪毛	かみのけ
0003	人体	旋毛	つむじ
0004	人体	雲脂	ふけ
0005	人体	白髪	しらが
0006	人体	目	め
0007	人体	眉	まゆ
0008	人体	額	ひたい
0009	人体	鼻	はな

0281	時間	今日	きょう
0282	時間	昨日	きのう
0283	時間	一昨日	おととい
0284	時間	明日	あした
0285	時間	明後日	あさって
0286	時間	明明後日	しあさって
0287	時間	翌日	よくじつ
0288	時間	翌々日	よくよくじつ
0289	時間	今年	ことし
0290	時間	去年	きょねん

- 例文を1つ以上考えてください。

- ・あたま: あだま [例] あだま いでちゃ (頭が痛い)
- ・かみのけ: かむいけ° [例] かむいけ° のンびだちゃ (髪の毛が伸びた)

(国立国語研究所『青森県むつ方言調査報告書』2020 より)

辞書

文法書

談話資料

- これも難しく考える必要はありません。
思いついた文例文をあげるだけでいいのです。

- ・あたま:あだま〔例〕あだま いでぢゃ(頭が痛い)
 - ・かみのけ:かむいけ[°]〔例〕かむいけ[°] のンびだぢゃ(髪の毛が伸びた)
- (国立国語研究所『青森県むつ方言調査報告書』2020 より)

丁寧体	普通体
丁寧形(=ます形)	普通形
書きます(マス形:肯定・現在)	書く(辞書形)
書きません(マス形:否定・現在)	書かない(ナイ形)
書きました(マス形:肯定・過去)	書いた(タ形)
書きませんでした(マス形:否定・過去)	書かなかった(ナイ形:過去)
(文末表現)	
書かなければなりません	書かなければならない
書いています	書いている(書いてる)
(助詞等の省略)	
日記を書きます	日記書く
今、暇です。	今、暇。
(名詞)	
私	僕
(応答詞)	
はい/いいえ	うん/うん
(疑問文)	
名前は何ですか。	名前、何々?
:	:

辞書

文法書

談話資料



- 「昔話の語り」などを録音してください。
- 2人の会話を録音してください。
- それを文字に書き起こしてください。

A: チョット エ アノー オレ ツリコサ エク°ダエンダゲントモ。

ちょっと エ あのう おれ 釣りに 行きたいのだけれども。

A: カッパ ダシテ ケロヤ。

合羽[を] 出して くれよ。

B: キョー エク°ノスカ アンダ ツリコサ。

今日 行くのですか あなた 釣りに。

A: ンダデバ。コ ユナ テンキン ドギ エカ°ネガッタラ エズ エク°ノ。

そうなんだよ。こう いうのは 天気の とき 行かなかったら いつ 行くの。

B: アー ホント。キョー ツレツペガ ホラー。

あー 本当。今日 釣れるだろうか ほら。

A: ダエジョブ ダエジョブ。

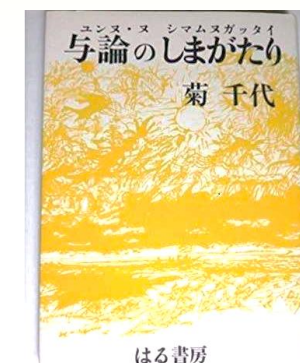
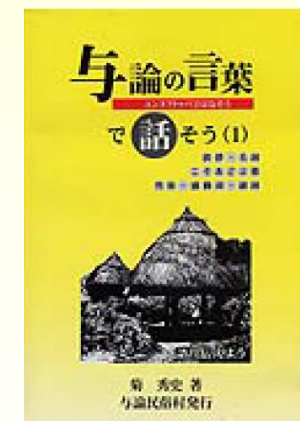
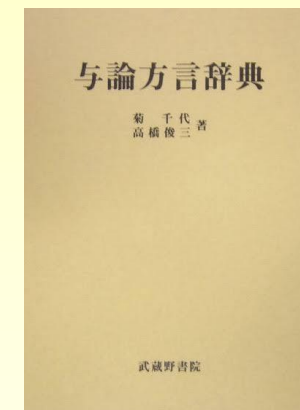
大丈夫 大丈夫。

(国立国語研究所『日本語諸方言コーパス』宮城県仙台市の会話より)



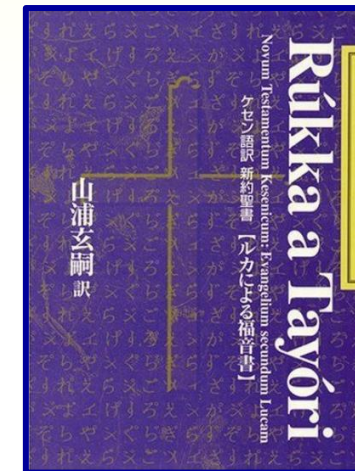
与論語の3点セット

- ・辞書：菊千代・高橋俊三『与論方言辞典』武蔵野書院、2005年
- ・文法書：菊秀史『与論の言葉で話そう(1)挨拶、名詞、こそあと言葉・感動詞・副詞』与論民俗村、2006年
菊秀史『与論の言葉で話そう(2)動詞の文型・文法』与論民俗村、2007年
菊秀史『与論の言葉で話そう(3)活用種類別動詞単語集』与論民俗村、2009年
菊秀史『与論の言葉で話そう(4)形容詞、助詞・助動詞』与論民俗村、2014年
- ・談話資料：菊千代『与論のしまがたり』はる書房、1985年



ケセン語の3点セット

- **辞書**: 山浦玄嗣編著、『ケセン語大辞典 上下』
無明舎出版、2002年
- **文法書**: 山浦玄嗣『ケセン語入門』
共和印刷企画センター、1985年、1989年改訂
- **談話資料**: 山浦玄嗣、『ケセン語訳新約聖書』
ルカによる福音書・CD 2003年
マルコによる福音書・CD 2003年
マタイによる福音書・CD 2002年
ヨハネによる福音書・CD 2004年



被災地における方言の記録(文化庁事業)

弘前学院大学	かだるびゃ・かだるべし青森県の方言
岩手大学	三陸の声を次世代に残そうプロジェクト
東北大学	被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開
福島大学	福島県内被災地方言情報のweb発信
茨城大学	方言で語り継ぐ震災の記憶

(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/kasseikajigyo/index.html、
2021.10.1閲覧)

ネットでの配信

東日本大震災と方言ネット

東北大学方言研究センター

ホーム 当サイトについて 大震災と方言活動情報 センターの取り組み センター情報 リンク

お問い合わせ

住所：〒980-8576
宮城県仙台市青葉区川内27番1号
東北大学大学院文学研究科
国語学研究室内

お問い合わせは[こちら](#)から

Translation tool

言語を選択

Powered by Google 翻訳

震災発生から10年目の今

東日本大震災の発生から10年が経ちました。私たちのふるさとに大きな被害をもたらした震災は、方言にも大きなダメージを与えました。被災者と支援者とのコミュニケーションギャップの問題が起こったり、地域の弱体化によって方言自体が衰退したりしています。そうした問題に対して、私たちは、被災地の方言を解説するパンフレットを作成したり、日々の生活の中の方言会話を記録したりする作業を行ってきました。

ところで、被災地の復興は進んだのでしょうか。物質文化の復興はたしかに進展しましたが、精神文化はどうでしょうか。私たちは、ふるさとの再生のためには、心のよりどころとなるものが大切で、その役割を方言が果たしてくれると期待しています。

そうした意味で、私たちは今後とも、ふるさとの方言を後世に伝え、その話し手のみなさんを支援する活動を続けていきたいと考えています。

2021年3月11日
東北大学方言研究センター

東北大学方言研究センター

東日本大震災と方言ネットは、研究面では、これまでの「大震災と方言」の研究成果と、これからの動向の把握を容易にし、今後の研究の効率化・活性化に利するネットワークを目指します。

社会的には、被災者・支援者に役立つ情報の発信により、復興への手助けをしていきます。

(<https://www.sinsaihougen.jp/>)

1.2 方言を伝える: 方言継承の取組

場所

学校教育

社会活動

方法

方言の教材

昔話・民話・演劇

ネットでの発信

学校教育・方言の教材



鹿児島県奄美
『島唄から学ぶ奄美のことば』2010年かごしま地域文化創成事業奄美地区実行委員会



沖縄県那覇市
『つかってあそぼうしまくとぅば』



沖縄豊見城市
『わったー たからむん てみぐすく くとぅば』

昔話・民話

岩手県

青森県



高木恭造



津軽 太宰治

遠野物語 山の人生

柳田国男著

数千年来の定住の習慣・俗信・伝説には必ずや深い人間的意味があるはずである。それが記録・研究されて来なかったのは不当ではないか。柳田の学問的出発点はこのにあった。陸中遠野郷に伝わる口説を踏まかつ作品ある文章で書きとめた「遠野物語」。併収の「山の人生」は、そうした柳田学の展開を画する記念碑的著作である。(解説・森田武夫)

書 138.1
岩波文庫

柳田国男1910年



星の環会



宮沢賢治



井上ひさし

演劇



ケセン語劇団

https://www.youtube.com/watch?v=RrwUpTdTBGE&list=PL0wBs3zfF8pRDDvPI_lv3oWDoiJbNIIcg



八戸市演劇集団ごめ

<https://ukipal.jp/2018/04/29/ukipal48/>

子どもたちの活動へ 鹿児島県沖永良部島の例から

「くんじゃい(国頭)しまむにプロジェクト」



2019年2月10日 (国立国語研究所)

「わどうまい(和泊)しまむにプロジェクト」



2020年2月16日(国立国語研究所)

方言継承活動の課題

方言を使う
場面を増
やそう！

1 学校教育

- 学校や教員の負担
- 教員の異動
- 他の地域出身の児童・生徒の参加

2 社会活動

- 参加者の固定化
- 子どもたちの参加をどう促進するか

3 方言の教材

- 子ども向け教材の開発が必要
- どの地域の方言で教材を作成するか
- 地域内のバリエーションを消してしまう恐れ
- 表記法の問題

4 昔話・民話・演劇

- ♥ 方言学習の導入として最適
- 文学、芸術と日常生活の言語を結びつける方策

5 ネットでの配信

- ♥ 動画、音声付きの教材として有効
- メディア・リテラシー教育が必要

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

効率派



英語ができれば日本語は
要らないということになり
かねない。

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

容認派



恐竜も滅んだ。
メソポタミア語も滅んだ。
それと同じか？

2. なぜ継承していくことが大切なのか

1. 方言は他の地域の人に通じないから、使用しない方がいい。
2. 方言がなくなっても共通語があるから問題はない。
3. 方言の衰退は社会の変化や時代の流れによるものであって、止めることはできない。
4. 方言はアイデンティティの象徴なので、必要である。

保存派



連帯感を強めると同時に、
他を排除する。

注意！

もし、方言がなくなったら・・・

◆ 方言でしかあらわせない、地域の文化がある。

山形東櫛引町方言のオノマトペ(擬声語・擬態語)

(1)【女】あさの たね。おだねって んめー もんだもの、あれも。こーばしぐで。その しそま
ぎさなの いっでの ピチランピチランて たべる もんだ。たべた もんだ。

麻の種。苧種(おだね)といって、おいしいものだもの、あれも。こうばしくて。その、しそ
まきになんか入れてね。ぽりぽりと食べるものだ。食べたものだ。

(2)【男】そればかり すっど やはり よわいんだよな。

【女】して やっぱり あさいどばっかだば ヒョータラクッタラっでー
でば えーがの。

【男】それだけにすると、やはり弱いのだよね。

【女】そしてやっぱり麻糸だけだとひよろひよろといえよいのかな。

(国立国語研究所『日本語諸方言コーパス』より)

なぜ言語・方言を守らなければならないか

方言が残るか、
消えるかは私
たちの手にか
かっている。

言語・方言は、その土地の文化
や歴史、生活の知恵を表現する
という役割をもっている。

それを私たちの世代で終わらせ
ていいのか？

方言をもっと使いましょう

- お年寄りは、若い人やお孫さんに方言で語りかけましょう。若い人の方言を「間違っている」「本当の方言じゃない」などと言わずに、ちゃんと聞いてあげましょう。
- 若い人はもっと方言を使いましょう。お年寄りの方言と違っていても結構です。
- 中年の人は子どものころに聞いた方言を思い出して、口に出してみましょう。





最後までお聞きくださり、
ありがとうございました。

資料

- 文化庁「東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する調査研究」
(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/shinsai_jittaichosa/index.html)
- 文化庁「被災地における方言の活性化支援」事業
(https://www.bunka.go.jp/seisaku/kokugo_nihongo/kokugo_shisaku/kikigengo/kasseikajigyo/index.html)
- 木部暢子『そうだったんだ！日本語 じゃって方言なおもしろとか』（岩波書店、2013年）
- 木部暢子・麻生玲子編『新しい地域文化研究の可能性を求めて Vol.3 ことばは文化の源』人間文化研究機構, 2018年
- 木部暢子「言語が消滅すること」と『わたしの外国語漂流記: 未知なる言葉と格闘した25人の物語 (14歳の世渡り術)』河出書房, 2020年